

東京2020オリンピック競技大会における聖火ランナーの選考について

【付議要旨】

東京都内を走行する聖火ランナーは、パートナー企業4社及び各都道府県実行委員会「東京都においては東京都聖火リレー実行委員会（以下「実行委員会」という。）」が選出し、その後、東京2020組織委員会が正式決定する。実行委員会は、公募及び推薦の枠を設けランナーを選出することとしており、各区市町村に対して意見照会を要請していることから、世田谷区における割当枠公募・推薦の考え方について以下のとおり定める。

1 東京都における聖火ランナーの枠

1,300人 (62区市町村)	← スポンサー枠 970人	⇒ 世田谷区枠 25人
	← 実行委員会枠 330人	← 公募枠 165人	⇒ 世田谷区枠 4人
		← 推薦枠 165人	⇒ 世田谷区枠 4人

●世田谷区を走行するランナーは合計33人の予定。

2 世田谷区聖火ランナー出走日

- (1) 日時：令和2年7月10日（金）午前（予定）
- (2) 出発地：駒沢オリンピック公園中央広場

3 世田谷区が選考する聖火ランナー

(1) 公募ランナー選考の考え方

①東京2020組織委員会が定める東京2020オリンピック聖火ランナー選定の基本的な考え方である「国籍、障がいの有無、性別、年齢のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定し、開かれたリレーとする」、「地域で活動している人を中心に選定」ということを踏まえ、公募者の中から区における公募ランナーを選考する。

●復興・不屈の精神（支えあう心）

日々の生活の中でも、家族、仲間、同僚などお互い支え合って、あきらめずにどんな困難にも立ち向かう人

(例) 復興のために、地域コミュニティ再生に多大な貢献をした人

●違いを認めあう包容力（認めあう心）

様々な人々との違いを認めあいながら新たなものに取り組んでいる人

(例) 様々な個性の子供たちのためのスポーツコミュニティを作り、多くの人が集う地域の拠点を作った人

地域の人と移住者をつなげて、新たな地域ブランド構築に貢献した人

●祝祭による一体感（高めあう心）

ランナーとして走ることで、地域の一体感を高め合うことができる人

(例) 地域の伝統文化活動を縁の下で支えている人

②応募者による自己PR・応募動機、世田谷区への想い、推薦理由を審査し、公募ランナー4人と補欠を選考する。

(2) 推薦ランナー選考の考え方

- ①東京 2020 組織委員会が定める東京 2020 オリンピック聖火ランナー選定の基本的な考え方である「国籍、障がいの有無、性別、年齢のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定し、開かれたリレーとする」、「地域で活動している人を中心に選定」ということを踏まえ、区における推薦ランナー 4 人と補欠を選考する。
- ②公募者の中から推薦ランナーを選考することは可能である。
- ③世田谷区の推薦の視点
 - 世田谷区に貢献している方
 - 未来を担う子どもたち
 - 区のスポーツ大会で優秀な成績を修めた方
- ④聖火ランナーは 1 人で走るという原則の例外として、チームとしてのストーリーを持っている 10 人以内の人が、一緒に聖火ランナーとして 1 つのトーチを回し持って走るグループランナーの選考も検討する。都内全域で 1 日 1 回程度、東京都実行委員会として実施可能な回数は最大 3 回まで（任意）となっている。